

感染症情報 12月4日～10日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1428例(堺市	42例)
②溶連菌感染症	539例(堺市	45例)
③RSウイルス感染症	326例(堺市	30例)
④手足口病	126例(堺市	3例)
⑤みずぼうそう	108例(堺市	12例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 817例(堺市 47例)

が報告された。

感染症報告数は前週比8.6%増の2,841件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より10%増、堺市で前週より5%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より7%増、堺市で前週より5%増であった。RSウイルス感染症は府下で前週比16%増、堺市で前週29例→今回30例であった。定点当たりで見ると、前週が1.4で、今回は1.6であった。手足口病は府下で前週比52%増、堺市では前週も今回も3例であった。みずぼうそうは府下で前週より14%減、堺市で前週6例→今回12例であった。

インフルエンザは府下で前週467例→今回817例で75%増、堺市では前週21例→今回47例となった。定点当たりでは前週が1.5で、今回は2.7となった。

麻疹や風疹の報告はなかった。